

産地パワーアップ事業の取組事例(28~30年度:計画作成主体:豊橋市地域農業再生協議会)(愛知県)

取組の概要

対象品目 : 施設野菜 (産地面積66.10ha)
主な取組主体 : 農業者142名
成果目標 : 総販売額の10%以上の増加
基準 (H27年度) 6,466,134,141円
目標 (R2年度) 7,896,721,198円
導入施設等 : 整備事業 (生産技術高度化施設)
低コスト耐候性ハウス
生産支援事業 (養液栽培設備、
環境制御装置等のリース導入)



産地体制

・東三河農林水産事務所 (県)
・豊橋市
・豊橋農業協同組合
・豊橋温室園芸農業協同組合

情報共有



農業者142名

地域における独自の取組

〈主な取組〉

・定期的な栽培講習会及び出荷目揃え会の開催
・市の営農継続応援補助金による、経営規模拡大に向けた農業機械や施設等の導入費用を助成

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

農業者の高齢化による栽培面積の縮小、低収益経営による後継者不足が進んでおり、産地の維持拡大のため、生産性向上と栽培管理の合理化が課題となっている。



【産地の体質強化に向けた方策】

高品質な作物の低コストかつ安定生産により産地全体の総販売額増加を実現するため

- ①生産量の維持拡大、高収益化につながる低コスト耐候性ハウス等の導入
- ②施設園芸の高度化、生産性向上につながる栽培管理設備等のリース導入に取り組む。

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ①安定した周年栽培が可能なハウスの整備による生産量・販売収益の増加
- ②高度な栽培管理による品質向上

総販売額が
32%増加
(達成率146.6%)

